

第1回 愛西市図書館協議会会議録（概要）

会議の名称	第1回 愛西市図書館協議会
開催日時	令和6年9月26日（木） 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	愛西市中央図書館 2階 会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	1名
協議事項	(1) 令和5年度図書館の利用状況について(中央・佐織) (2) 令和6年度図書館の運営について (3) その他
公開/非公開	公開
傍聴人の数	0人
会議資料	次第 資料1. 令和5年度利用状況比較 資料2. 令和5年度図書館運営について 資料3. 令和5年度移動図書館巡回 資料4. 令和5年度読書推進について 資料5. 令和6年度図書館運営について
協議経過	別紙のとおり

委員名

役職名	氏名	備考
愛西市社会教育委員 愛西市家庭教育推進連絡協議会委員	水谷 瀧男	会長
愛西市中学校長代表	吉次 章浩	副会長
愛西市小学校長代表	前田 由美子	欠席
愛西市学校司書教諭代表	蒔田 憲一	
愛西市社会教育委員 会長 愛西市家庭教育推進連絡協議会委員	堀田 喜一郎	
愛西市婦人会会長	中村 文子	
とんがりぼうしおはなし会代表	佐藤 良枝	
元美和町図書館職員	山口 陽子	

事務局

役職名	氏名
愛西市中央図書館長	小倉 美由紀
愛西市中央図書館副館長	川上 千恵子
愛西市中央図書館司書	細田 恵美子
愛西市教育委員会 生涯学習スポーツ課 主査	富田 美紀子
愛西市教育委員会 生涯学習スポーツ課 主査	諸岡 菜穂子

協議経過

発言者	議事録
会長	事務局あいさつ 令和6年度委員の紹介 (会長挨拶)
事務局	令和5年度 図書館利用状況について 図書館年報 資料により、概要・入館者数・貸出点数・貸出人数・図書館行事等を報告。 移動図書館巡回・図書館運営・読書推進活動を報告。
会長	ただ今、事務局から説明がありましたが、ご意見・ご質問がございましたらどうぞ。
委員	団体貸出配送サービスに関しまして、これは各学校や施設からお願いしたいという希望があったら行うということですか。
事務局	そうです。こういうサービスをしています、というご案内を出しているの、依頼があった施設に配送サービスをしています。
委員	分かりました。これは、学校以外でもいいということですか。 高齢者施設などは対象になっていないのですか。
事務局	現在は、児童館とか子育て支援センターとか、学校関係の子どもたちの所へ回っていますが、高齢の方も多い地区でもあり、高齢の方の図書館利用も多いので、将来的には高齢者向けの施設へも回りたいと考えています。
会長	各学校、児童館、支援センターには、こういうサービスがあることを知らせてあり、希望者は言ってください、というかたちでやっておられるということですね。
委員	小学校は4校だけしか利用がないようです。団体貸出しの状況を教えてください。
事務局	佐屋小学校から依頼があり、令和5年9月より定期配送を開始しております。
委員	各学校の教室に学級文庫として何冊か本が置いてあります。それを入れ替えると本を読む子どもたちが増えると思います。学校の担当の方にもお願いしたいです。
事務局	ぜひ、団体貸出配送サービスを利用させていただきたいと思います。
会長	団体貸出サービスを利用して、もっと本を読むようになると良いと思います。
事務局	立田南部・北部小学校は、各階ごとに分けて置きたいという希望があり、学年別の選書をしています。永和小学校も、最初はまとめて100冊配送していましたが、各学年ご

	との選書で本を分け欲しいとの要望がありました。このように、学校の希望により、選書方法等を少しずつ変えております。
委員	小学校に10年間在職していましたが、子どもたちは古い本も 何度も読んでいました。このサービスは良い事されていると思います。
委員	配送サービスは、週一回とか、一か月何回とか、定期的に行っていますか。
事務局	月に1回、1団体100冊、貸出期間は1ヶ月です。
委員	誰が選書をされているのですか。
事務局	担当の司書が選書しております。
委員	愛西市は学校司書は配置していますか。
委員	司書教諭は、12学級以上の学校に配置されるので良いと思うのですが、学校司書と いって、担任を持たずに学校図書館を運営していく人は配置されておらず、司書教諭の 先生がされているということですね。 私自身の経験ですが、あま市は学校司書を配置するようになりました。学校司書が入った ことで、古かった学級文庫がほぼ廃棄になり、図書室にあるきれいな本を学級文庫へ 各クラスで図書室から借りて行き、子供たちが図書室に来て貸し出し、足りない本は美和 図書館へ団体貸出をお願いしています。あま市は配送がないのでうらやましいですが、司書が 借りに行って持って帰る、というような流れです。図書室の中が本当にきれいに片付きました。 だから、もう少し学校司書の時間が長いと良いと思います。司書教諭とは全く別に図書館 専門に配置される職員ですので、図書支援員の形をとっています。 新しい本の購入の選書も、司書教諭の先生と他の先生方の希望も取り入れながら、 学校司書と行っていくという風にしていきました。司書教諭の先生も随分 楽になれるかと思います。
委員	それは、市が配置するわけですか。
委員	そうです。稀な例ですが、PTAの予算から配置している学校も、全国ベースで見るとあり ますが、ほとんどは予算化しています。全国を見ても、一日、月曜から金曜まで 生徒がいる時間に必ず司書がいるという行政は、岡山県、新潟県、島根県、その あたりと本当に少ないですけれども、岡山県の貸出点数、図書館利用数は全国一位 だと聞いています。やはり子供の時からの積み重ねがこのようなかたちで出るの だろうな、文化が育つのだろうな、ということをニュースで聞いて思いました。図書室を管理 して運営しようとする、司書教諭の先生も、本当に大変な思いをされていらっしゃると思います。
委員	あま市は学校司書のおかげで、学級文庫と学校図書館の中が本当に片付いてきれいに

	なりました。子供達も借りるのが分かりやすくなった、ということを目の当たりにしています。 そして、公共図書館との連携ですね。
事務局	昨年、愛知県図書館協会の理事会で、学校司書について話がありました。 愛知県内で学校司書の整備状況は、三河はほぼ完全に整備されており、尾張も着々と進んでいるとのことでした。 近隣では、津島市とあま市は、学校司書をおいております。 先生たちの働き方改革もあり、図書室の整備などの兼務は難しい面もあるかと思います。 今後は、図書館と学校との連携で、子ども達の読書推進を一緒進めて行ければと思います。 数限られた司書とスタッフで運営しておりますので、すぐにということは難しいかもしれませんが本の劣化の事もこの学校も同じような悩みを抱えているということなので、 図書館でできるだけのことを、学校と協力していけたら、と思っております。
委員	図書館との連携で図書館から学校司書を派遣しているという自治体も本当に少ないですけどもあります。教育委員会で支援員というかたちで司書を採用して各学校へ、という自治体が多いと思います。
委員	本校は、校長、教頭に力を貸していただいています。 中学校の実態をお話しさせていただきます。 学級文庫については、本校の場合は図書委員会の子どもたちが集まり、クラスの子達が今興味がありそうな本とか読んでほしい本を、自分達で選書して教室に持って行くため、破れている本や傷んでいる本、ずっと置きっぱなしになっている本は、基本的には存在しておらず、随時入替をしています。 PTAに入って頂く事によって、古い書籍の入れ替えや修繕を行い、分類に関しても全てシールを貼って整えました。新刊が入れば新刊だけ別のところにあえて置くことで、子どもたちから情報を発信してもらって図書室に通ってもらっています。 探している本がない場合に関しては、愛西市の図書館に行くよう促すというかたちで図書館を利用しています。
委員	司書教諭は、ずっとその学校にいらっしゃるのでしょうか。私が読み聞かせに行っている学校は、大体2年ごとに図書担当の先生が替わりますので、どういう風なのかなと思いました。
委員	図書担当の先生と司書教諭が一緒なのか分かりませんが、大抵各校に一人は司書教諭という方がいて、その人が転任すると、そこにまた新しい人が入ります。
委員	図書担当の先生は司書教諭ではない場合もあるのですか。

委員

学校事情によっては、そういう事もあると思います。

委員

私は学年別に朝読書の時間に読み聞かせに行っています。コロナ前は、教室に行くと子どもたちが朝、本を読んでいたんですが、ここ数年は朝読書タイムにおじゃますると、本を読んでいる子が誰もいません。図書委員会もあるみたいですが、私が行っている学校の場合はちょっとしたホールに図書が並んでいて、私達も通りがかりに見る事ができます。背表紙が日焼けしていて、新しいのか古いのかよく分からない状態だと、子どもたちも手に取るのも嫌ではないかと感じます。図書館の本を整理するとか、見出しを付けるとか、そういう作業をしないといけないと思います。

図書系の先生もお忙しいとは思いますが、意欲があるないで随分変わってくるのではないのでしょうか。読み聞かせをして20年以上経ちますが、毎年どの学年も、つまらなさそうにしている子も、ちゃんと聞いてくれています。全然興味がないような子は、いないと感じます。朝なので、できるだけ重い本ではなく朝から元気が出るような本ばかりを選んで読んでいますが、大体みんな興味を持って聞いてくれます。子どもたちも本は嫌いじゃないと思います。あとは環境です。学級文庫は多分後ろの方に12、3冊くらいしかないようです。月に何回かは委員会活動があつて、図書委員の子たちが本を借りに来るよう言っているとは思いますが、果たしてみんな見に来ているかどうかは分かりません。図書委員会の活動がもう少し盛り上がれば、子どもたちももっと本を借りる気になるのではないかと思います。朝の読み聞かせの時は、ここで借りた本を紹介して、「面白いと思ったら、愛西市の中央図書館に来てね」という風にいつも言っています。学校からだちょっと遠くて、どうしても親御さんと一緒じゃないと来られないので、学校自体が本を読むことに関してもう少し盛り上がるといいなと思います。学業のテストで愛西市が全国平均より下だという事は、読解力が低いのもあるのかとも思うので、本にもっと親しむことによって学習能力も少しは上がるのではないのかと思います。ぜひ、司書教諭の先生の繋がりがあの中でせつかく愛西市に良い図書館があるので、団体貸出のことを働きかけていただきたいと思います。

委員

学校に行くと、本が読めるとか、友達と遊べるとか、楽しみをもてるような学校にしなければいけないと思います。不登校が増えているのは、学校に魅力がないというのも一つあると思います。この図書館のような、学校に対しての貸出サービスなど色々やっていただいて、本を読む楽しい時間を過ごせる、そういう事をやるべきだと思います。そうではないと、どんどん不登校が増えていってしまいます。楽しみの一つとして、活気のある図書館、本がたくさんある、綺麗な本がある、そういうことも必要じゃないかと思っています。

事務局	この図書館に来る前に他の自治体で学校司書の仕事を何年かしていました。複数校担当していたので、いろんな学校を見てきましたが、やはり学校によって様々です。 読書に関心がある先生がいる学校とか、理解のある教頭先生や校長先生がいる所は、読書に対して熱心だったり、子どもたちも本をすごく身近に感じていました。 図書室や学級文庫の整備も大事ですが、他にもう一つ大事な事は、子どもたちに読み応えのある本を紹介できることです。子どもたちは、決して本は嫌いではないと思いますが、読み応えのある本が遠くになってしまっています。本を置いておくだけでは、なかなか伝わらないけれど、子どもたちに身近な大人が「これはおもしろいんだよ」「これはこういう本なんだよ」と紹介を直接する事で、子どもたちが本を手取るきっかけになったり、興味をもってくれるということを何回も見てきました。図書の環境整備と読解力を上げるため、また読み応えのある本を紹介する人を配置する、という点からも学校司書は大事な制度ではないかと思います。
委員	それを、配置するのは教育委員会かと思います。 司書免許を持っている先生が司書になるのは、受け持っている学級もあるし忙しいことでしょう。司書を置くというのは愛西市の教育委員会が市で置くというかたちをとらないと難しいと感じます。愛西市教育委員会が各学校に司書を置くという方針で予算を立てないと、普通の学校の先生と兼務の司書では思い切って図書館の改革をするというのは難しいと思います。
委員	学校の先生が兼務となると、授業に支障も出てきたり大変ですので、行政の側が行っていただければ非常に良い事だと思います。PTAがだんだん無くなりつつありますので、PTAの力を借りるという事が大変になって来ます。今の発言にあったように、学校司書は役所の方が配置していただくというのが一番だと思います。
会長	よい意見かと思います。図書館と学校をどう繋いでいくかという事だと思います。協力しながら、図書館の方も校長会を通して色々広めて頂くと良いかと思います。 他にはありますか。
委員	移動図書館について、移動図書館を利用していた人が図書館を利用するようになったということだが、利用が減少している理由はその他に考えられますか。
事務局	出生率の低下も要因ではないかと考えます。 また、若いお母様方は自動車に乗られる方が多いので、直接図書館に行かれる方も多くあまり小さいお子さんがいると出歩くことも難しくなってくるということもあります。 移動図書館を介して沢山本がある中央図書館、佐織図書館へ車で見に行こうか、というようなかたちで、次のステップの誘導として巡回バスが利用されるという

	かたちになっているのではないかと思います。
委員	巡回回数が多いのではないのでしょうか。
事務局	現在は2週間に1回の巡回です。後期からは巡回の見直しをいたしまして、秋から立田体育館と八開コミュニティセンターを交互に巡回いたします。
委員	利用が減っているから、巡回を減らしてはどうかと思います。それで、要望があれば増やすというのでも良いかと思います。
会長	他はよろしいのでしょうか。それでは、利用状況については、了承いただけましたでしょうか。
	【委員 了承】
会長	続いて「令和6年度図書館運営について」をお願いします。
事務局	令和6年度図書館運営について(説明)
会長	ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご質問・ご意見ございますか。
委員	移動図書館は一か月に1回になるということで、一回に借りられる本は何冊になりますか。
事務局	10冊ですが、貸出期間は長くなります。
会長	他はどうでしょうか。
委員	歴史文化講座「なるほどざあいさい」は、1回目が佐屋地区、2回目が立田地区ということだが、その場所の内容についての講演ということですか。
事務局	はい、そうです。
会長	他はどうでしょうか。
	ないようですので、この計画に基づいて、一年間また頑張ってくださいということで、ご了承いただけますか。
	【委員 了承】
会長	ありがとうございました。
委員	それでは、「その他」について移らせていただきます。事務局から何かありますか。
事務局	ひとつ、ご報告させていただきたい事がございます。この度、令和6年度愛知県ボランティア活動功労者表彰におきまして、愛西市中央図書館でも平成7年6月から、約30年に渡り読み聞かせ活動をされている、とんがりぼうしおはなし会さんが表彰されました。本日、図書館協議会委員として御出席していただいている佐藤良枝さんが、会長であらせられます。この度の受賞を、心からお喜び申し上げます。
委員	この図書館ができた時から、とんがりぼうしおはなし会の代表をしています。私たちは、お子さんたちが本を好きになっていただけたらいいなと思って、種まきのつもりで今までやって参りました。最近、働くお母さんが増えて1歳前に保育園に預けて、来月も来てね

	と言うと、来月からもう私働くので子どもを保育園に預けるんです。という方が本当に多くて、小さいお子さんを連れてきてくださるお母さんたちが減っています。ただ、育休をとった若いお父さんが、お子さんとお母さんと家族3人で来てくださることもありました。これから男性も取るだけ育休ではなく、しっかり育休を取っていただいて、子どもさんと向き合ってくださいといいな、その延長線におはなし会があり、じゃあ行こうか、という風に感じてくださるとうれしいと思います。私たちは種まきだけで、その後それぞれにお任せして芽を出していたらいいなと思っています。後は後継者不足で、おはなし会に参加してくださる方をずっと募っていますので、よろしくお願いします。
会長	おめでとうございます。
委員	育休という制度につきましては、取れるようになって本当に良い時代になったと思います。今のところ、ほとんど1年の取得です。誕生日が来ると保育園に行かれます。そうすると、図書館でおはなし会をしても、リピーターさんが育ちません。1、2回来たらもうその子はいなくなり、次また新しい子がくるけれども、絵本が楽しくなったころにいなくなってしまう。地域の幼稚園、保育園で良い絵本を手渡す先生がおりますが、ボランティアさんが学校だけではなくて幼稚園、保育園にも行っていただけると良いと思います。
委員	当団体では保育園から要請がありまして、出前のようなかたちで保育園に行っています。将来的には、そういうかたちもあるのかなと思います。
委員	図書館の方からも、幼稚園・保育園へ読みに行くということを考えないといけない時代に入ったのではないかと思います。育休制度も3年、4年と取れるようになると違ってくるでしょうが、ほとんど1年なので、そこから先を、どうやって子どもたちの読むことと結び付けてあげるかということと、幼稚園・保育園がよい絵本を子どもたちと一緒に読んでいるという事が分かればいいのですが、まだまだ浸透していない面があると感じるので、図書館の方でカバーしていく、そのためのボランティアを養成するとか、そういう事が必要な時代に入ってきている気はします。
会長	貴重な意見をありがとうございました。他に何かございますか。では、以上で協議会を終わらせていただきますが、よろしいですか。ご協力ありがとうございました。
事務局	本日は、貴重なご意見をお聞かせ頂き、ありがとうございました。 第1回愛西市図書館協議会を終了いたします。 どうもありがとうございました。